



## 国民年金保険料の納付に 便利な制度があります

令和2年度の国民年金保険料は月額16,540円です。  
納付にはさまざまな便利な制度があります。

■**保険料の納め方**  
保険料は、納付書により金融機関、コンビニエンスストアなどで現金で納めることができます。このほか、口座振替やインターネットバンキング、クレジットカードなどによる納付もできます。

■**現金納付のお得な納め方**  
4月に郵送される1年前納用の納付書で一括して前納した場合、3520円の割引になります。  
※納付期限は4月30日(木)

6カ月前納、1年前納のほか、2年前納などの割引もあります。2年前納を利用する場合は申出書の提出が必要です。  
詳しくは花巻年金事務所へお問い合わせください。

### ■**学生納付特例申請**

20歳以上の学生は前年の所得が一定以下であれば、学生納付特例制度が利用できます。

この制度は、承認を受けた月から10年以内であれば、保険料を後払い(追納)することができる仕組みです。

申請には学生証(コピー可)または在学証明書(原本)が必要です。

# 賢治さんの まじり

第85回

## はなまき賢治セミナー

はなまき賢治セミナーは「賢治さんを語る市民」を育むことを目的に、市が毎年開催している市民講座です。令和元年度は「ゆったり体験編」「じっくり講義編」の2部構成で実施しました。

ゆったり体験編では、賢治についてこれから学びたいという人や、セミナー初心者でも楽しみながら学べるよう、ワークショップ・移動学習を中心に構成。お気に入りの賢治作品のポップ作りや、賢治カルタでの遊び体験などを行いました。受講生からは「賢治ビギナーでも興味を持てる内容だった」「ワークショップは初体験だが楽しめた」と、好評をいただきました。

じっくり講義編では、市の学芸員が鈴木卓苗や斎藤宗次



①移動学習で丹内山神社を訪問  
②賢治カルタの遊び体験

郎など、賢治を取り巻く人たちについて講義。賢治について長く学んでいる経年受講者からも「賢治の世界が一層広がる話で興味深かった」などの声をいただきました。

令和2年度は、移動学習やワークショップを中心とした企画、講義などを検討していきます。賢治初心者はもちろん、若い人や子育て世代、賢治について深く学びたい人など、たくさんの方の参加をお待ちしています。

◆同セミナーの問い合わせは本館生涯学習課(☎24・2111内線418)へ

【問い合わせ】  
本館賢治まじり課  
(☎24・2111内線365)

■**免除などの申請期間**  
免除、納付猶予、学生納付特例の申請は、申請する時点から2年1カ月前までの期間をさかのぼって行えます。  
1枚の申請書で申請できるのは、免除および納付猶予は7月～翌年6月、学生納付特例は4月～翌年3月の1年度分です。  
複数年度の申請を希望する場合は、年度ごとの申請書の提出が必要です。

1枚の申請書で申請できるのは、免除および納付猶予は7月～翌年6月、学生納付特例は4月～翌年3月の1年度分です。

### 【問い合わせ】

○花巻年金事務所(☎23・3351)

○本館国保医療課

(☎24・2111内線263)

○各総合支所健康福祉係

大 迫(☎48・2111内線143)

石鳥谷(☎45・2111内線227)

東 和(☎42・2111内線223)

## 厚生年金 離婚時の年金分割制度 のお知らせ

離婚した場合、婚姻期間中の厚生年金を分割することができます。

離婚後2年以内の手続きが必要です。お早めに花巻年金事務所へご相談ください。



## 4月からコンビニ交付サービスの 取扱店舗が拡充されます

4月から、コンビニ交付サービスの取扱店舗にユニバースが追加されます。マイナンバーカードを利用して住民票などを取得できる便利なコンビニ交付サービスをぜひご利用ください。

### ■市内の対象店舗

セブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、ユニバース(4月から)

【問い合わせ】  
本館市民登録課  
(☎24-2111内線408)

### ■取得できる証明書と利用時間

○住民票の写し、印鑑登録証明書、課税(所得)証明書  
書…午前6時30分～午後11時

※12月29日～1月3日を除く。利用は店舗の営業時間内に限ります

○戸籍の全部事項・個人事項証明書(戸籍謄本・抄本)、戸籍の附票の写し…午前9時～午後5時15分

※土・日曜日、祝日、12月29日～1月3日を除く

# 世界と花巻

vol.75

## 2010年バンクーバー冬季オリンピック金メダリストによるスケート教室を開催しました

2月17日、石鳥谷アイスアリーナで「2010年バンクーバー冬季オリンピック金メダリストエヴァン・ライサチェク氏によるスケート教室」が開催されました。

同教室は、東京2020オリンピック・パラリンピックの「復興『ありがとう』ホストタウン」事業の一環で、米国政府の支援の下実施。石鳥谷小4年生44人が参加しました。

スケート教室でライサチェク氏は「石鳥谷フィギュアスケティングクラブスポーツ少年団」の皆さんに協力してもらいながら児童を指導。さまざまな滑り方の基礎のほか、鬼ごっこやスライディングなど、遊びを取り入れながら



①スケート教室の様子  
②金メダルを披露するライサチェク氏

スケートの楽しさを伝えていました。

感想発表でライサチェク氏は「スケートはたくさん転んでも、また立ち上がっていくとうまくなれる。同じように、皆さんがこれからの人生でたくさん失敗しても、また立ち上がって乗り越えてほしい」とエールを送りました。

同教室終了後、金メダルを身に着けたライサチェク氏は、児童一人一人との記念撮影に笑顔で応えていました。